

技術提案書作成要領（案）

1 総則

技術提案書の用紙サイズは、特に定めた場合を除いて、全てA3判横、片面使いとする。全体の用紙枚数は、表紙、「2 会社実績・技術者名等一覧及び担当者実績」を除き、合計34枚以内とすること。また、別紙様式1技術者名等一覧を除き、技術提案書及び説明図、説明書類には会社名等を記載しないこと。

2 会社実績・技術者名等一覧及び担当者実績（別紙様式1）

- (1) 会社実績・技術者名等一覧及び担当者実績はA4判縦、片面使いとする。
- (2) 会社実績は、競争参加資格申請書に記載した工事施工等業務を担当する者の会社実績について、技術者名等一覧とは別に、工事の内容、特徴、写真、本計画との内容の類似性と本計画への適用性（どのような点を本計画に活用できるか）等を記載し、1社につき1件、任意様式A4判片面1枚以内に記述すること。
- (3) 技術者名等一覧は、競争参加資格申請書に記載した管理技術者、監理技術者、主任技術者について、設計者、工事施工者、工事監理者に分けて記入すること。
- (4) 所属欄は、当該技術者が所属する会社名及び現在の所属部署を記入すること。
- (5) 担当者実績は、競争参加資格申請書に記載した管理技術者、監理技術者、主任技術者の同種・類似業務の実績について、工事の内容、特徴、写真、本計画への適用性、類似性（どのような点を本計画に活用できるか）等を記載し、1名につき1件、任意様式A4判片面1枚以内に記述すること。
- (6) 監理技術者が1級建築施工管理技士及び一級建築士の資格を両方保有する場合は、両方とも記載すること。

3 必須評価項目

- (1) 次に掲げる課題についての実施方針をA3判10枚の範囲内で記述すること。なお、当該課題名称を必ず記入すること。文字の大きさは10ポイント以上（イラスト等に含まれる文字についてはこの限りでないが、判読が困難である場合は当該部分を評価できないことがある）とする。

	課題	用紙枚数等
①	施設計画	A3判10枚以内
②	工程	
③	事業費	

- (2) 各課題について、以下の提案を行うこと。

①施設計画

以下について記述、提出すること。

- ・施設計画の概要と特徴等
※特に特徴については、目的、内容、想定される効果について具体的に記入する。
- ・配置図（外構図を兼ねて作成）
- ・延床面積
- ・簡略な平面図（主要階）
- ・簡略な立面図（1面以上）
- ・簡略な断面図（1面以上）
- ・日影図（等時間日影図）

②工程

以下について記述、提出すること。

- ・総合工事工程、総合施工計画
- ・事業期間を遵守するための具体的方策（設計、施工共に）
 - ※総合工事工程及び総合施工計画について提案すること。提案においては、その具体性・実現性、安全性、近隣、工期短縮等も十分に考慮すること。またそれらの考慮した点について、特筆すべき事項については提案書に記述すること。
 - ※総合工事工程は、準備工事段階からの工程とし、試運転、受電、各種検査期間・性能検証期間等についても表現すること。また、クリティカルパスを太線・赤線で表示すること。
 - ※総合施工計画は、準備工事段階からの施工計画とすること。また、内容は総合工事工程と対応したものとする。
 - ※実施設計段階・工事段階の業務スケジュールの概略を提示し、各フェーズで行う具体的な業務内容や想定される課題と解決策等を記述すること。
 - ※東日本大震災の復興事業や2020年東京オリンピック・パラリンピック等に向けた建設需要の増加、これに伴う技能労働者の不足等も考慮し、構工法の合理化等により本計画が建設市況全体に与える影響を十分に配慮した提案を行うこと。

③事業費

以下について記述、提出すること。

- ・総事業費（設計費、工事費、工事監理費、施工技術検討費の別に記載）

以下について、配慮した項目ごとに、目的、内容、想定される効果を具体的に記述すること。

- ・事業費縮減のための手法
- ・工事費の上限内に収める事業費管理手法

4 加算点評価項目

○ 業務の実施方針（別紙様式3）

- (1) 業務の実施方針は、次に掲げる課題についての実施方針をA3判6枚の範囲内で記述すること。
 なお、当該課題名称を必ず記入すること。文字の大きさは10ポイント以上（イラスト等に含まれる文字についてはこの限りでないが、判読が困難である場合は当該部分を評価できないことがある）とする。

	課 題	用紙枚数等
④	施設整備にあたっての基本的な考え方（重視すべき事項）	A3判6枚以内
⑤	設計段階、工事段階の業務の実施方針	
⑥	設計段階、工事段階について、チーム編成、各担当者の能力や実績・資格	

- (2) 文章を補完するための最小限の写真、イラスト及びイメージ図並びにエスキス及びスケッチを記載又は貼付することができる。
- (3) 各課題について、以下の点に留意して提案を行うこと。
- ・工事費の上限内で、期限内に完成・引渡しを行うことを前提とした提案を行うこととし、そのために提出者が持つ知的財産や独自のノウハウ等を活用する場合は、具体的に当該技術等の名称等を用いて提案することができる。
 - ・東日本大震災の復興事業や2020年東京オリンピック・パラリンピック等に向けた建設需要の増加、これに伴う技能労働者の不足等も考慮し、構工法の合理化等により本計画が建設市況全体に与える影響を十分に配慮した提案を行うこと。

①施設整備にあたっての基本的な考え方（重視すべき事項）

施設整備全体の取組にあたっての基本的な考え方（重視すべき事項）を記述すること。

②設計段階、工事段階の業務の実施方針

設計業務、施工技術検討業務、施工管理業務、工事監理業務のそれぞれについて、業務の実施に当たっての方針、共同企業体の場合は各構成員間の協力関係構築に向けた方針などを記述すること。

③設計段階、工事段階について、チーム編成、各担当者の能力や実績・資格

設計業務、施工技術検討業務、施工管理業務、工事監理業務のそれぞれについて、業務実施にあたってのチーム編成、チームの特徴、各担当者の能力や実績・資格などを記述すること。

○ 課題についての提案（別紙様式4）

- (1) 課題についての提案は、次に掲げる課題についての基本的な考え方を各課題それぞれ用紙枚数の範囲内（計18枚）で記述すること。なお、当該課題名称を必ず記入すること。文字の大きさは10ポイント以上（イラスト等に含まれる文字についてはこの限りでないが、判読が困難である場合は当該部分を評価できないことがある）とする。

	課 題	用紙枚数等
①	建設費の縮減	A3判3枚以内
②	工期短縮	A3判3枚以内
③	維持管理費縮減	A3判3枚以内
④	バリアフリー計画	A3判3枚以内
⑤	日本らしさに配慮した施設整備	A3判3枚以内
⑥	景観・地球環境等への配慮	A3判3枚以内

- (2) 課題についての提案には、別紙様式に加えて必要に応じて説明図、説明書類を参考添付することができる。説明図、説明書類は任意様式A3判片面で合計10枚以内とし、参考添付資料である旨を明記すること。

- (3) 各課題について、以下の点に留意して提案を行うこと。

- ・工事費の上限内で、期限内に完成・引渡しを行うことを前提とした提案を行う。そのために提出者が持つ知的財産や独自のノウハウ等を活用する場合は、具体的に当該技術等の名称等を用いて提案することができる。
- ・要求水準書や関係法令、競技団体等が示す各種ガイドライン等を満たす提案とすること。
- ・東日本大震災の復興事業や2020年東京オリンピック・パラリンピック等に向けた建設需要の増加、またそれに伴う技能労働者の不足等も考慮し、構工法の合理化等により本計画が建設市況全体に与える影響を十分に配慮した提案を行うこと。
- ・提案内容は具体的なものとし、抽象的な提案は評価しないこととする。

①建設費の縮減

以下について記述すること。

- ・総事業費、算出の考え方
 - ※〇〇〇で定める総事業費の上限を超えない範囲で記述すること。
- ・主要工種（例：スタンド、屋根等）のコスト計画に関する考え方
- ・事業期間を通じた、建設費抑制のためのコスト管理手法の考え方
- ・コスト縮減の確実性を高めるための工夫

②工期短縮

以下について記述すること。

- ・工期を短縮するための具体的方策、完成期限及び工期（設計、施工共に）
 - ※〇〇〇で定める完成期限を越えない範囲で記述すること。
- ・主要工種（地下躯体、スタンド、屋根等）の工期縮減のための工期短縮に関する考え方

- ・事業期間を通じて期限内に確実に完成させるための工程管理計画の考え方

③維持管理費縮減

以下について、配慮した項目ごとに、目的、内容、想定される効果を具体的に記述すること。

- ・維持管理費を縮減させるための設計における具体的方策
 - ※考慮した建築計画及び設備（電気、空気調和、給排水衛生、昇降機等）のシステムごとに記述すること。
- ・施設の将来可変性を持たせるための設計における具体的方策

④バリアフリー計画

以下について、配慮した項目ごとに、目的、内容、想定される効果を具体的に記述すること。

- ・世界最高レベルのバリアフリー環境を実現するための具体的方策

⑤日本らしさに配慮した施設整備

以下について、配慮した項目ごとに、目的、内容、想定される効果を具体的に記述すること。

- ・日本らしさに配慮した施設整備の具体的方策
- ・日本文化の発信としての木材利用を行う具体的方策

⑥景観・地球環境等への配慮

以下について、配慮した項目ごとに、目的、内容、想定される効果を具体的に記述すること。

- ・神宮外苑地区の環境や景観等に調和するとともに、スポーツクラスターの中核にふさわしい景観を形成するための具体的方策
 - ※併せて、このことを表現するイメージパースを提出すること。（全体鳥瞰及び全体アイレベル）
- ・施設や地域の特性を考慮した環境負荷の抑制、自然エネルギーの活用に関する技術的手法

別紙様式 1

会社名又は共同企業体名：

技術者名等一覧

■設計者

1 管理技術者

- (1) 氏 名 :
- (2) 生年月日 : 年 月 日 (歳)
- (3) 所 属 :

2 主任技術者 (〇〇分野) ※建築分野、構造分野、電気設備分野、機械設備分野

- (1) 氏 名 :
- (2) 生年月日 : 年 月 日 (歳)
- (3) 所 属 :

■施工者

1 監理技術者

- (1) 氏 名 :
- (2) 生年月日 : 年 月 日 (歳)
- (3) 所 属 :

2 主任技術者 (〇〇工事) ※建築一式工事、電気工事、管工事

- (1) 氏 名 :
- (2) 生年月日 : 年 月 日 (歳)
- (3) 所 属 :

■工事監理者

1 監理技術者

- (1) 氏 名 :
- (2) 生年月日 : 年 月 日 (歳)
- (3) 所 属 :

2 主任技術者 (〇〇監理) ※建築監理、構造監理、電気設備監理、機械設備監理

- (1) 氏 名 :
- (2) 生年月日 : 年 月 日 (歳)
- (3) 所 属 :

※ 記載欄は、構成員数に応じて適宜追加すること。

別紙様式 2

課題：

必須評価項目

A 3 サイズ

業務の実施方針

A 3 サイズ

別紙様式4

課題：

課題についての提案

A3サイズ